

特集

対応困難な学生に出会ったら……
発達障害の支援を考える

【インタビュー】発達障害支援の現状と課題——

高橋知音先生に聞く

問題の所在を考え直す 川上ちひろ

【座談会】困りごとから考える、就職後もみすえた

学生のキャリア支援 川上ちひろ／堀田亮／松野知美／他

当事者の子をもつ看護教員として 中尾幹子

当事者たちからの声 匿名3名

発達障害について看護教員が学ぶこと 西田千夏

【連載】

看護に恋した哲学者と読む ベナーがわかる！腑に落ちる・6

榊原哲也

ティーチング・ポートフォリオ作成講座・7 栗田佳代子・吉田墨

NとEとLGBTQ・7 藤井ひろみ

つくって発見！ 美術解剖学の魅力・10 阿久津裕彦

授業を良くする！ 教育関連理論・12(最終回) 西野毅朗

編集後記

●四半世紀も前のこと、病院付属の専門学校で夜間実習を一晚見学したことがあります。私が見学できるくらいなので、ふだんは落ち着いているのでしょうか、その晩はたまたま急変が重なり、隣接する寮から駆け付けた看護師に加えて学生も休むことなく走り回ることとなりました。翌朝、へたり込んでいた学生を労いながら「病院で働くというのはこういうことだから」という先生の言葉が印象的でした。●統合実習というのは、学生としての最後の学びの機会で、「病院で働くこと」を理解する場ではないかと考えます。これだとインターンシップ的な位置づけでしかないのかもしれませんが、就職すれば即現場に出ることを考えると、その意味合いは外せないでしょう。領域別実習はもちろん、それまでの学びのすべてを統合できる実習により、現場に飛び込む準備を充実させることを期待します。……大野

●東京医科大学の受験でのニュースについて、男性含めた医師の働き方自体が問題、と議論もさまざまに広がっています。個人的には、不正該当年度に手応えとは裏腹に不合格になり、医師の道を諦めた女性の、自分以上に大学に怒る両親を見て「娘に生まれて申し訳ない」という言葉がショックでした。ここまで構造的に差別をされると、被害者が自分を責めてしまうこと。男性である私も、その構造に乗っていること。女性であれば誰でも何度かそういう気持ちにさせられている、と今更ながら教わりました。……番匠

◎編集室ツイッター

http://twitter.com/KANGOKYOIKU

看護教育 第59巻 第9号 2018年9月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2018, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2018年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、電子版／個人15,540円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・南部

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/18/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体 1,500 円＋税
年間購読 好評受付中!
電子版もお選びいただけます。

Vol.59 No.8

2018 年 8 月
【増大号】
特集

実習指導 虎の巻

【増大号】1部定価：本体 2,200 円＋税

医療の高度化、在院日数短縮化などの医療環境の変化、実習以外の講義科目の増加、看護系大学の急増に伴う実習施設確保の問題、教員不足のなど、実習指導の環境が大きく変化しています。特に、大学の増加は、あまり臨床、指導経験をつまていない若手の教員が実習指導で学生と向き合うことを意味しています。こうした若手の教員に対し、実習指導のあり方や方法などについて、サポート体制もなかなか整っていません。そこで本特集では、4 部構成にて、さまざまな角度から、経験の浅い先生方へ、実習指導について考えるヒントとなることをめざします。

第1部「実習指導で大切なこと」では、指導経験豊かな先生方を中心に、実習指導の魅力やあり方について、語っていただきます。
第2部「ここが知りたい実習指導」では、実習指導について疑問とされる内容に、多様なお立場の先生から、具体的な事例も交えて解決策をご提案いたします。

また、実習では実習施設との協働が欠かせません。**第3部「実習施設との協働」**では、病院側の指導者の方々に、実習にあたって、教員へお伝えしたいことをご執筆いただきます。

そして**第4部「実習指導の理解をさらに深める」**では、弊社から実習指導についての書籍を刊行されたばかりの先生方に、著作の意図、狙いを解説いただきます。

看護が、マニュアル通りにいかず臨機応変な対応が求められるように、実習も、もちろん実習指導も、型通りにはいきません。そうしたとき、本特集にご登場いただいた多くの先生方のお声や豊富な事例が、みなさまの実践の支えとなることを期待しています。

第1部 実習指導で大切なこと

■【座談会】実習指導の魅力と課題を共有し、「これから」を考える ……池西静江／水方智子／任和子／岡山摩子

■実習指導はおもしろい！——現場のピンチをチャンスに変えていこう ……大池美也子

■1人ひとりの学生と向き合うために 指導案と指導記録作成のススメ ……山口みのり

第2部 ここが知りたい実習指導

■教員の「看護師としての役割」と「教える役割」で迷ったら ……奥裕美

■看護過程と実践がズレていると感じたらどうすればいいか ……秋元恵子 他

第3部 実習施設との協働に向けて

■臨床の方は忙しいので声がかけにくい ……正藤倫音

■教員も慣れない実習先で、技術教育が充分にできない ……岩崎詩子 他

第4部 実習指導の理解をさらに深める

■「経験型実習教育」のススメ ……安藤史子

■看護教育のためのパフォーマンス評価 ルーブリック作成からカリキュラム設計へに込めた実習指導の極意 ……糸賀暢子

■現場での体験こそ最高の教材「実習指導を通して伝える看護 看護師を育てるひとたち」で伝えたいこと ……吉田みつ子



Vol.59 No.7

2018 年 7 月
特集

主体性を育む「問いづくり」

現在教育界では、主体的に学ぶ学生を育てるため、さまざまな形でアクティブラーニングが取り入れられています。もともと演習やグループワークの活用が盛んな看護教育ですから、この傾向自体は歓迎すべきものでしょう。ただ、たいていの学生は、「主体的な学び方」が身につけていないので、まず教員が、学生が主体性をもつためのお手伝いをする必要があります。

「問いづくり」は、小中高校の「探求学習」で多く取り入れられている教育技法で、文字通り、学生自らが問いをつくる学習法です。自分が興味をもっていること、知りたいことは何かを考え、それを疑問の形で表したうえで、自分で調べ、まとめ、説明するというところまでもっていきます。教員から与えられた問いではなく、自分でつくり出した問いなので、より主体的に学ぶ力が養われます。

教員は、この方法を学び、学生に指導することで、学生の主体性を引き出すことはもちろん、自身が「教える」ということに関し多くの示唆を得ることができます。今回の特集で語られる「問いづくり」に挑戦し、学習における教員自身の主体性にも注目してみてください。

■主体的に学ぶ力を養う「問いづくり」——QFT (Question Formulation Technique) の活用 ……佐藤広子

■【座談会】主体的な学生を育てる試みを——QFT を体験して学んだこと ……佐藤広子／萬田律子／山田かおる／加藤久美子／佐々木津矢

■学習者の「知りたい」を引き出す——「問いをつくるスパイラル」から始めるアクティブラーニング ……天野由貴

■QFT を知る、学ぶ、使う「ハテナソン・ワークショップ」から学んだこと ……江川美由紀／岩井由美子



【2018 年 6 月号 (Vol.59 No.6)】

身体拘束から考える
基礎教育と臨床の関係

【2018 年 3 月号 (Vol.59 No.3)】

私たちのストレスケア

【2018 年 5 月号 (Vol.59 No.5)】

授業にゲームを

【2018 年 2 月号 (Vol.59 No.2)】

VR で未来を変える

【2018 年 4 月号 (Vol.59 No.4)】

問題解決志向に疲れたら……

【2018 年 1 月号 (Vol.59 No.1)】

インストラクショナル
デザインを活かす

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2016 年 7 月号 (Vol. 57, No. 7) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.taobook.com/>)
- 2016 年 8 月号 (Vol. 57, No. 8) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) をお願いします。